

## メール通知設定

降水予測、強風予測、気温予測、雷予測、注意報・警報、アメダス実況、熱中症、Nセンサー観測データの各通報メールを送信します。

設定手順は、アドレス登録→アドレス選択→現場選択→メール内容設定の順に行います。

### ①メール通知設定画面への切替

1. 登録された現場名

メニューをクリック

設定をクリック

メール通知設定をクリック

### ②アドレス登録と削除

メール管理はこちら▶

をクリックして登録開始 ※最大20件のアドレスを登録できます。

	名前	アドレス		
01	川原PC	smt.mkt-9@sysmet.co.jp	削除	試験送信
02	川原スマホ	smt.kawahara@gmail.com	削除	試験送信
03				

(例) 今回このアドレスを登録

- ・名前、アドレス入力後 **設定・変更** をクリックする。
- ・登録後、**試験送信** で送信テストを行う。
- ・不要なアドレスは、**削除** クリックで削除できます。

### ③アドレス選択→現場選択→メール内容設定

設定をするメールアドレスにチェックを入れてください

<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/> 02	川原スマホ	←名前		
				0	←紐づけた現場がまだ無い。空白		

メールアドレス登録直後は現場がまだ紐づいていません。対象の現場を選択します。

## 現場を選択してください

2.0000作業所

※プルダウンから現場を選択す

## ③-1.基本情報設定

②で選択したメールアドレス宛に、先ほど選択した現場の状況をお知らせします。送るメール内容を以下で設定してください。

## 基本情報設定

受信を受け入れる時間帯の設定を行います

0時00分

～

0時00分

メール通報後、次の通報までの間隔を設定できます

1時間

メール受信時間外の再送を設定できます



再送しない



再送する

- ・メールを受信する時間帯を設定します。設定時間帯以外はメールを受信しません。  
※夜間の時間帯のメールを受信したくない場合対象時間帯を設定
- ・メールの受信間隔を設定します。  
※例えば、間隔を1時間に設定した場合。  
1時間降水量予測の基準値越えメールを受信して、1時間後も継続して基準値越えの場合、メールが送信されます。

## ③-2.予測

以下の気象要素種類からメール通報したい要素に  を入れ選択します。

- 1) 降雨通報・・・最長24時間先までの時間範囲内でお客様が任意で設定した降雨量が予測された場合と連続雨量が予測された場合に登録したメールアドレスに通報します。
- 2) 強風通報・・・最長24時間先までの時間範囲内でお客様が任意で設定した風速（平均風速）が予測された場合に登録したメールアドレスに通報します。
- 3) 気温通報・・・最長24時間先までの時間範囲内でお客様が任意で設定した気温が予測された場合に登録したメールアドレスに通報します。（設定値を上回る時と下回る時）
- 4) 熱中症・・・WBGT（暑さ指数）25℃以上が予測された場合登録したメールアドレスに通報します。（3月～12月 1日1回06：00に通報）
- 5) 雷通報・・・1時間先までの時間範囲内で雷雲の接近が予測された場合に登録したメールアドレスに通報します。接近距離の設定は半径1～半径10km以内です。  
雲レベルの設定は1～6です。  
※雷レベルは雷雲のエネルギー、規模、接近・離反などを計算し数値化したものです。